

ほけんだより 2月

令和7年2月3日
東京都立八王子西特別支援学校
校長 坂口 しおり
保健室 柳野・野間

2月3日は「立春」です。暦の上では春になりますが、まだまだ寒さの厳しい日が続いています。衣服で体温調節をし、睡眠、食事を十分にとることが大切です。空気の乾燥に加えて、疲れや寒さで免疫が落ち、感染症にかかりやすい状況が続きます。学校では、手洗い・うがい、換気を意識して行っていきます。

2月の予定

3日(月)	小高体位測定
7日(金)	小低体位測定
12日(水)	体位測定予備日
17日(月)	療育相談
21日(金)	高3保健指導
26日(水)	高1歯科指導

毎朝の健康観察のお願い

いつも本校の感染症対策に御協力いただきありがとうございます。体調不良者が増えていますので、御自宅での毎朝の検温など、健康観察を必ず行うようお願いいたします。



もしも、学校感染症にかかったら・・・

①治癒連絡表の提出

病気が治ったら、医師に診断を受けたうえで、「治癒連絡表」を保護者が記入し、登校初日に学校に提出してください。「治癒連絡表」は、本校のホームページに掲載されておりますので、必要に応じて印刷して御利用ください。また、学校でも「治癒連絡表」をお渡しすることができます。

②学校で服薬する場合には、「臨時薬・頓服薬使用依頼票」の提出

臨時的に学校で服薬する場合には、「臨時薬・頓服薬使用依頼票」と共にお薬を提出してください。依頼票の指示に従い、服薬することができます。

「臨時薬・頓服薬使用依頼票」は、本校のホームページに掲載されておりますので、必要に応じて印刷して御利用ください。また、学校でも「臨時薬・頓服薬使用依頼票」をお渡しすることができます。

～症状の分かりにくい感染症について～

① マイコプラズマ肺炎



●マイコプラズマという細菌に感染することで起こる肺炎。

●主な症状

発熱や全身の倦怠感、頭痛、咳などの症状がみられます（咳は少し遅れて始まることもあります）。

咳は熱が下がった後も長期にわたって（3～4週間）続くのが特徴です。

●検査方法

PCR 検査を行います。しかし、症状や周囲の流行状況から推測して治療を行うことも少なくありません。

●治療法

発熱や咳などが長引く場合は、抗菌薬による服薬治療を実施します。

●注意

医師により認められれば登校可能ですが、咳などの症状がある場合、周囲に移すリスクがあります。

② 伝染性紅斑(リンゴ病)

●「ヒトパルボウイルス」というウイルスに感染することで発症します。

●主な症状

7～10 日ほど後に、発熱など軽いかぜのような症状が見られます。そして感染から 14～18 日ほどたってから、両方のほおが赤くなり、続いて、おもに腕や足にレース状の赤い発疹が現れます。

※頬が赤くなった時にはすでに感染力はありません。

●検査方法

症状から医師に診断されることが多いです。

●治療法

りんご病は軽い場合がほとんどで、病院での治療はとくに必要ありません。

●注意

妊婦が感染すると、胎児に危険が及ぶ可能性があります。



～療育相談について～

2月17日(月)は、今年度最後の療育相談になります。

本校では、お子様の心身の状態とそれに伴う行動の理解・解決を目的として、学校医（精神科医）である濱本先生との面談の場を設けています。

今年は、計18件の療育相談を行いました。相談内容は、服薬について、登校支援について、癩癩やこだわりについてなど、多岐にわたります。精神科医の先生からの専門的な意見を聞くことができるため、課題の理解・解決の糸口が見つかります。また、継続して療育相談を受けることができるため、お子様の様子について経過を追って支援方法を検討することができます。さらに、意見を得られるということだけでなく、担任や養護教諭も同席するため、お子様について周囲の大人の理解が深まり、お子様を支援する手が増えることにも大きな意味を感じています。

今年度最後の相談である2月は既に定員となりましたが、健康に関することでの御相談はいつでも保健室で受け付けております。お気軽に御相談ください。

